

週間市場レポート (2021年12月20日~12月24日)

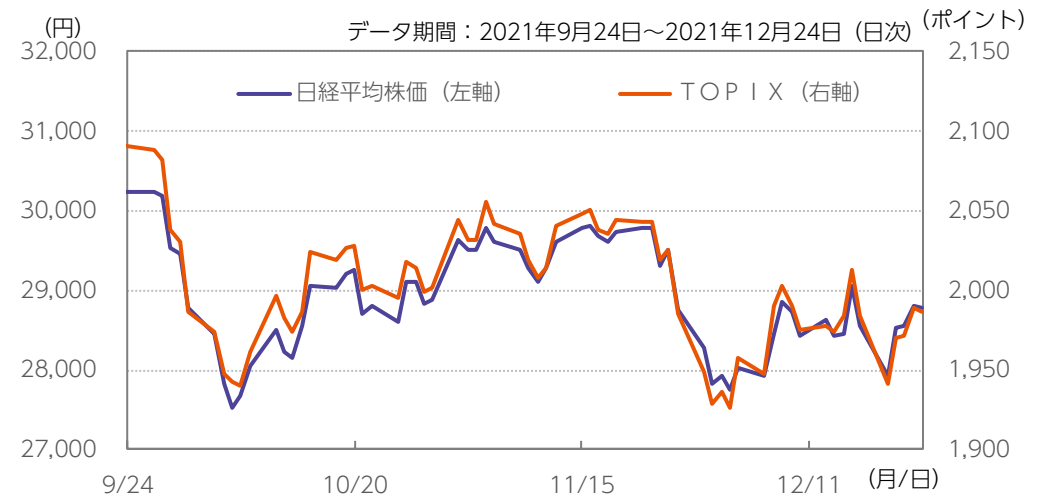
1) 先週の市場動向

| 指数名 | 国 | 前週末 2021/12/17 | 先週末 *2 2021/12/24 | 前週末比 (%) |
|--------------------------------|---|-------------------|----------------------|-------------|
| 日経平均株価 (円) | | 28,545.68 | 28,782.59 | 0.83 ↗ |
| TOPIX (東証株価指数) | | 1,984.47 | 1,986.78 | 0.12 ↗ |
| ダウ工業株30種平均 (ドル) | | 35,365.44 | 35,950.56 | 1.65 ↗ |
| S & P500種指数 | | 4,620.64 | 4,725.79 | 2.28 ↗ |
| ナスダック総合指数 | | 15,169.68 | 15,653.37 | 3.19 ↗ |
| ユーロ・ストックス50指数 | | 4,161.35 | 4,265.86 | 2.51 ↗ |
| S & P/ASX300指数 | | 7,313.04 | 7,425.49 | 1.54 ↗ |
| 上海総合指数 | | 3,632.36 | 3,618.05 | ▲0.39 ↘ |
| MSCI AC アジア (除く日本)* | | 954.24 | 956.48 | 0.24 ↗ |
| 東証REIT指数 | | 2,072.31 | 2,047.80 | ▲1.18 ↘ |
| FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数 | | 939.50 | 948.25 | 0.93 ↗ |
| ASX300 REIT 指数 | | 1,756.80 | 1,755.60 | ▲0.07 ↘ |
| グローバルREIT (除く日本)* | | 220.25 | 222.60 | 1.07 ↗ |
| 日本10年国債 (%) | | 0.049 | 0.067 | 0.018 ↗ |
| 米国10年国債 (%) | | 1.402 | 1.493 | 0.091 ↗ |
| ドイツ10年国債 (%) | | ▲0.378 | ▲0.249 | 0.129 ↗ |
| 英国10年国債 (%) | | 0.759 | 0.922 | 0.163 ↗ |
| ドル/円 | | 113.63 | 114.38 | 0.66 ↗ |
| ユーロ/円 | | 127.83 | 129.49 | 1.30 ↗ |
| 英ポンド/円 | | 150.51 | 153.14 | 1.74 ↗ |
| 豪ドル/円 | | 81.01 | 82.61 | 1.97 ↗ |
| フィラデルフィア半導体指数 | | 3,761.04 | 3,932.39 | 4.56 ↗ |
| WTI原油先物 (ドル) | | 70.86 | 73.79 | 4.13 ↗ |
| CRB 指数 | | 225.14 | 230.90 | 2.56 ↗ |

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で小幅に上昇となりました。前週末の米国株式市場が下落した流れを受け、週初は、心理的な節目である28,000円を2週間ぶりに下回りました。その後、2営業日で1,100円超下落していたことから自律反発狙いの買いが入り、再び28,000円を回復しました。週末にかけては、欧米を中心にクリスマス休暇入りする投資家も多く市場参加者が限られるなか、小動きとなりました。

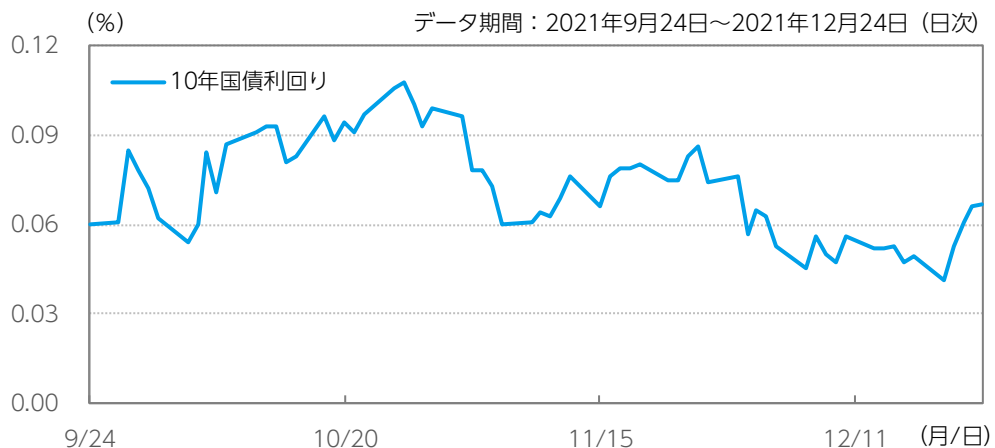


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

※現地通貨ベース *1 ▲はマイナスを表します。 *2 12月24日はクリスマス休暇で休場のため、一部海外市場は23日のデータ。

≪ 債券 ≫

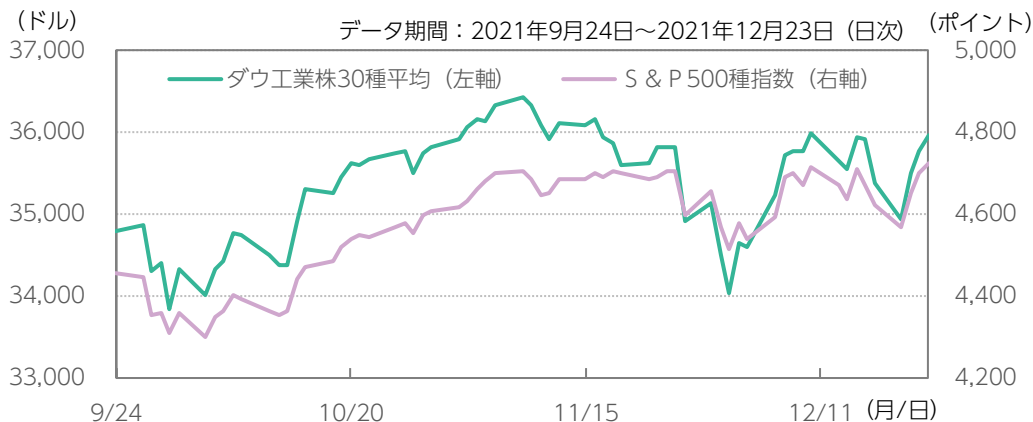
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で上昇となりました。週初は、日経平均株価が大幅安となり、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、安全資産とされる債券は買いが優勢となりました（利回りは低下）。週末にかけて、米長期金利が上昇した流れを受け、国内金利も上昇したことから（価格は下落）、週間では前週末比で上昇となりました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

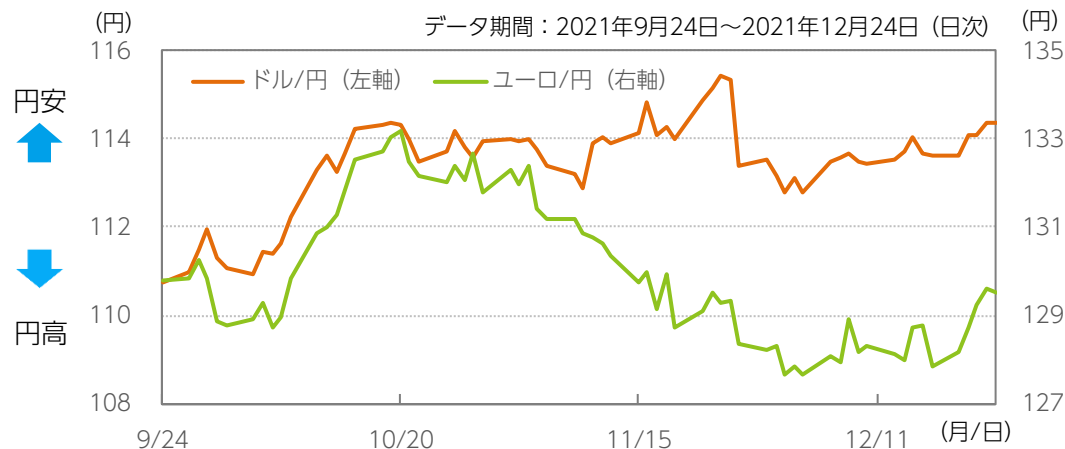
米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇しました。オミクロン株の感染が米国内でも拡大し、行動制限再導入への警戒感から週初は下落しました。その後は、クリスマス休暇を控え買いが閑散となるなか、市場予想を上回る経済指標や、米食品医薬品局（FDA）が、米大手製薬会社が開発した新型コロナウイルスの経口治療薬の緊急使用を承認したことが好感され、週末まで上昇しました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。米長期金利が上昇基調にあり、日米金利差を意識した円売り米ドル買いが優勢となりました。また、オミクロン株による感染の重症化リスクが低いとの調査結果から、世界景気の先行き不透明感が和らいだことも、相対的に低リスク通貨とされる円の売りを促しました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、クリスマス休暇を控え買いが閑散となるも、新型コロナウイルスの経口治療薬の緊急使用が相次いで承認されたことなどが好感され、前週末比では上昇しました。

オミクロン株の感染力などについて、英国や南アフリカでの調査結果が公表されました。デルタ株など他の変異株に比べ、入院や重症化のリスクが大幅に低いことが示されたことから、厳しい行動制限により経済活動が停滞することへの警戒感が後退しました。また、経口治療薬の緊急使用承認が、急拡大するオミクロン株の新たな感染抑制策になるとの期待が高まっています。

今週は年末で市場参加者が少なくなることから、株式市場は値動きに乏しく、日米両市場ともに横ばいとなるものと予想します。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>